

土曜日の教育支援・南部地区

上尾市・わくわく科学教室 光るスライム時計を作ろう！			
活動場所	原市公民館	参加者数 (1日平均)	20人
参加対象	小学4年～中学3年生		
連携団体	埼玉県立いずみ高等学校		
活動内容	<p>材料の分量・手順を守って、スライム時計を完成させ、成功したか実験する・物質の反応や変化の観察を通して、科学を楽しく学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほう砂とPVA（洗濯のり）を振って反応を見る ・なぜ反応するのか？ ・組み立てをして、時計として機能するか観察 ・暗闇で光る様子を楽しむ 		
活動の成果	<p>難しいことよりもまずは楽しんで理科を学んで欲しいという講師陣の指導で、にぎやかに講座を進めることができた。また、数年ぶりにグループ席で行う講座でもあり、初めに15秒の自己紹介を入れたことで、緊張がほぐれ質問をしたり、他校の児童とも打ち解ける様子も見られた。</p> <p>材料の扱い方や処分の仕方。同じ分量でも振り方で違いが出ることを知ることができた。</p>		

上尾市基本情報			
実施教室数	24教室	対象学校数	小学校22校 中学校11校
主な対象学年	小学1～6学年 中学1～3学年	平均開催日数	1日
コーディネーター数	24人	ボランティア数	0人
講師の属性	上尾市まなびすと指導者バンク登録指導者、高校教諭、大学講師、企業等		



〔計量は真横から〕



〔光るスライム時計の完成〕

土曜日の教育支援・南部地区

蕨市・西小ふれあい寺子屋-NFT-

活動場所	蕨市立西小学校	参加者数 (1日平均)	9人
参加対象	小学3～6学年		
連携団体	地域の方		
活動内容	<p>行政・家庭・地域が連携協力し、子どもを育む環境づくりを推進する。児童の自主的な学習（宿題・課題・ものづくり）をサポートし、子どもたちに集中して学ぶ大切さや楽しさを教え、学習習慣の定着や基礎学力の向上を図っている。</p> <p>宿題やドリルの分からない所を教える学習アドバイザーには元教員や大学生（卒業生）が務め、出入り口の管理等を行う安全管理員（見守り役）は元PTAの方から協力を得ている。</p> <p>英語のジェスチャーゲームやクリスマスと正月の装飾品工作などを通じて、楽しみながら新しい発見の機会を創出している。</p>		
活動の成果	<p>学習アドバイザーを元教員や大学生が務めているため、学習面でのサポートがスムーズである。今回、新しく中国語を話せるスタッフが学習アドバイザーとして加入した。中国語や英語を用いて身近な物などを発音・ジェスチャーゲームで表現する時間を設けたところ、参加児童は、慣れない言葉にとまどいながらも、積極的に取り組んでいた。途中参加の児童も、こういった機会のなかで、他の児童とコミュニケーションをとることができている。</p> <p>5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、4年ぶりに通常どおりに開設することができた。コロナ禍では参加者数が減少していたが、チラシの見直しと申込方法の簡略化により今年度は、全地区合計で前年比1.5倍程の人数となっており、活気が戻ってきている。</p>		

蕨市 基本情報

実施教室数	7教室	対象学校数	小学校 7校
主な対象学年	小学3～6学年	平均開催日数	21日
コーディネーター数	7人	ボランティア数	85人
講師の属性	元教員、塾講師、大学生、地域の方		



中央小学校区わらび学校土曜塾
学習の様子



塚越小学校区わらび学校土曜塾
科学実験教室の様子

土曜日の教育支援・南部地区

朝霞市・科学あそび大好き！

活動場所	朝霞第三小学校	参加者数 (1日平均)	11.7人
参加対象	小学1～6学年		
連携団体	科学読物研究会		
活動内容	第1回：ダチョウの卵 第2回：おっと、音の実験だ！ 第3回：ネイチャーゲーム 第4回：シャボン玉 第5回：ヒツジくんとチクチク羊毛フェルト 第6回：磁石の不思議 第7回：宇宙ってどんなところ？ 第8回：手品の科学 第9回：コマの不思議 第10回：ふくらむスライムとスーパーボールをつくろう 第11回：化石のレプリカ作り 第12回：牛乳パックのくるくる絵本		
活動の成果	<p>当教室は、毎年定員超過の応募があり、抽選で参加者を決定する人気のある教室で、講師には、科学実験等の指導で定評のある、科学読物研究会の方々に協力をいただいて実施した。</p> <p>教室では、様々な実験を通じて、なぜそんな不思議なことが起こるのかという理由をわかりやすく伝えており、科学的知識を得る喜びを知ってもらうことができました。</p> <p>保護者からは、「科学実験楽しかったようです。帰ってきてすぐ見せてくれたり、いっしょけんめい説明してくれた。」などの感想を得ることができた。</p>		

朝霞市基本情報

実施教室数	6教室	対象学校数	小学校10校
主な対象学年	小学1～6学年	平均開催日数	12日
コーディネーター数	3人	ボランティア数	55人
講師の属性	NPO法人、民間企業、民間団体、書道家 他		



〔シャボン玉〕



〔ヒツジくんとチクチク羊毛フェルト〕

土曜日の教育支援・南部地区

新座市・新座っ子ばわーあっぷくらぶ（栗原小-遊びのたからばこ）			
活動場所	新座市立栗原小学校 体育館	参加者数 (1日平均)	20人
参加対象	小学1～6学年		
連携団体	新座市青少年育成推進委員会		
活動内容	<p>学校・学年が異なる児童が、体育館で体を動かしたり、季節に合わせた工作をしたりして遊んでいる。友達づくりを第一の目的としている。また、スタッフが指導するのではなく、児童自身で考えられるように進めている。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月 自己紹介・プラバン・ブンブンゴマ 10月 トイレットペーパーの芯で作る・ゲーム 11月 紙コップで作る さかなつり 12月 スノードーム（クリスマスツリー） 1月 万華鏡作り・カイト（ビニール凧） 2月 マスキングテープを使ったキーホルダー 3月 写真立て・空き瓶を利用した小物入れ 		
活動の成果	<p>工作では、自分で模様を考えるようになり、回数が増すごとに個性がでてきた。細かい作業では、根気強く、組み立てたり、色を塗ったりすることができた。児童は達成感を得ることができたと思う。</p> <p>工作や、それを使ったゲームをすることで、上の学年が下の学年を自然とサポートするようになったり、活動に集中して取り組む力が向上したりした。</p>		

新座市 基本情報			
実施教室数	27教室	対象学校数	小学校17校
主な対象学年	小学1～6学年	平均開催日数	10日
コーディネーター数	5人	ボランティア数	164人
講師の属性	企業人、大学生、元教員、NPO法人 等		



クリスマスカード作り



みんなで作った羽子板

土曜日の教育支援・南部地区

北本市・土曜補習教室

活動場所	教室	参加者数 (1日平均)	30人
参加対象	小学3～6学年		
連携団体	—		
活動内容	<p>○ねらい 土曜日を活用した補習を実施することにより、児童の基礎学力の向上を図るとともに、児童の家庭学習の習慣を身に付ける。</p> <p>○内容 ・算数科の基礎的・基本的な内容の復習</p> <p>○期間(全7回) 6月10日、7月8日、9月9日、10月14日 11月18日、1月20日、2月10日</p> <p>○その他 ・受講は希望制とし、算数科の学習内容の定着を図りたい児童(各学年5～10名程度) ・学校が準備したプリントを活用 ・学習形態は、主に各自が進める演習方式</p>		
活動の成果	<p>事前に手紙を配布して希望を取り、受講した児童に対し、苦手な学習内容の復習など、きめ細かな学習支援を行うことができた。</p> <p>教職員にとっては、児童の学習のつまずきを細かく把握することができるため、そのつまずきを授業改善につなげることができた。</p> <p>担任以外の教職員が関わることで、児童理解が深まった。学校全体で児童を支援することができ、生徒指導にもつなげることができた。</p>		

北本市(町)基本情報

実施教室数	11教室	対象学校数	小学校 7校 中学校 4校
主な対象学年	小学3～6学年 中学1～3学年	平均開催日数	8日/教室
コーディネーター数	11人	ボランティア数	199人
講師の属性	教職員、学力向上支援員、 大学生(教育実習生)		



〔質問への個別対応〕



〔練習問題の丸付け〕

土曜日の教育支援・西部地区

坂戸市・学力のびのび塾（三芳野公民館）

活動場所	三芳野公民館	参加者数 (1日平均)	5人
参加対象	小学4・5学年		
連携団体	—		
活動内容	<p>小学4年生は3年生の、小学5年生は4年生の国語と算数のドリルを使って学習する。前年度の学習を行うことで「分かる」経験を積み、基礎学力の定着と学習意欲の向上につなげる。また、地域の人材を学習支援員として活用することで、支援員にとっても地域へ貢献する機会として機能し、活力ある地域づくりの一助としている。参加児童と学習支援員は1回目から最終回まで同じ教室に参加するため、児童それぞれに合わせた指導を可能としており、教室は地域の公民館等を使用し、概ね学校ごとに会場を設定して実施している。また、小学校の土曜日授業等を考慮した不定期な開催のため、各小学校の開催週に事前にメールアドレスを登録した保護者・学習支援員あてにお知らせメールを配信している。</p>		
活動の成果	<p>少人数での実施のため、参加児童は手厚い指導を受けることができる。また、毎回、同じメンバーが集まるため、学習支援員も参加児童も和やかな雰囲気での活動することができた。会場の設定や学習支援員の確保が毎年の課題となっているが、参加した学習支援員は地域の小学生との関わりを持ちながら社会参加することができ、支援員同士の交流も生まれている。さらに、社会教育指導員の経験を持つ統括コーディネーターを配置し、学校教育課や教育センターなどと連携することで、様々な視点で事業を検討することができた。</p>		

坂戸市基本情報

実施教室数	14教室	対象学校数	小学校12校
主な対象学年	小学4・5学年	平均開催日数	18日
コーディネーター数	15人	ボランティア数	65人
講師の属性	元教員、大学生、一般市民		



〔指導の様子〕



〔活動の様子〕

土曜日の教育支援・西部地区

越生町・越生子ども未来大学

活動場所	公民館、町内小・中・高等学校等	参加者数 (1日平均)	17人
参加対象	全学年		
連携団体	清和学園高等学校、埼玉昆虫談話会等		
活動内容	<p>外国語、文学、武道、宇宙科学など様々な分野から12講座を実施した。各分野の専門家の方へ講師依頼し、子どもたちの興味関心を引く講座を開講した。</p> <p>1回目：Let's Enjoy English！ 2回目：プロの作家から作文を習おう 3回目：「心・技・体」武道（BUDO）すごいぞ！ 4回目：クルマってすごいね!!クルマはなぜ動くの？ 5回目：表現で遊ぶ演劇教室 6回目：巨大風船を作って遊ぼう 7回目：大空にロケットを飛ばそう！ 8回目：今、宇宙がおもしろい！ 9回目：越生町のチョウとチョウが水にぬれない「ふしぎ」の実験 10回目：みんなで打とう！和太鼓ドンドン♪ 11回目：越生町のホテルとホテルが光る「ふしぎ」の実験 12回目：最新のAIツールについて考えてみよう！</p>		
活動の成果	<p>学校の授業では経験できない体験や実験など、各分野の専門家の先生に担当していただき、全12講座を実施した。</p> <p>新しい知識や好奇心を掻き立てる様々な講座を通じて、子どもたちからは驚きや感動の声があふれ、将来の夢や希望につなげることができた。</p>		

越生町基本情報

実施教室数	2教室	対象学校数	小学校 2校 中学校 1校
主な対象学年	小学1～6学年 中学1～3学年	平均開催日数	17日
コーディネーター数	4人	ボランティア数	31人
講師の属性	大学教授、ALT、作家、埼玉昆虫談話会職員、越生子ども未来大学実行委員会関係者 等		



〔プロの作家から作文を習おう〕



〔クルマってすごいね!!
クルマはなぜ動くの?〕

土曜日の教育支援・熊谷地区

熊谷市・ウィークエンドサイエンス			
活動場所	熊谷市全域	参加者数 (1日平均)	30人 児童生徒・保護者 合わせて
参加対象	全学年		
連携団体	熊谷の環境を考える連絡協議会、埼玉県河川環境団体連絡協議会、別府沼を考える会、埼玉県生態系保護協会、立正大学 等		
活動内容	第1回 ゲンジボタル観賞会（ホタルの話と現地観賞） 第2回 別府沼公園の自然観察 第3回 和田吉野川の水辺環境と生き物調べ 第4回 「葉脈しおり」をつくってみよう！ 第5回 びっくり！不思議なスライム作り 第6回 サイエンスショー 第7回 バスで行く自然観察会「赤城山の美しい自然を探る」 第8回 骨から動物のからだを想像しよう 第9回 野鳥の森で自然に触れよう！ 第10回 走れ！リニアモーターカー！ 第11回 あみあみ葉っぱのしおりを作ろう！！ 第12回 手作りモーターで、プロペラ船を走らせよう！ 第13回 進め！ポンポン船 第14回 空気を使って遊ぼう！ 第15回 静電気で遊ぼう！ 第16回 カラフルサイエンス 第17回 高く飛び上がれ！目指すは宇宙！ペットボトルロケット		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○普段は立ち入ることのない川や沼に親子で入り、そこに住む生物や、植物の様子を観察することで、熊谷市内の自然環境を知り、生き物の生命の大切さを学ぶことができた。 ○本物に触れる機会を通して、博物館で見学する以上の体験ができ、参加者の学びを深めることができた。 ○科学実験や生物、環境等を扱った観察会など、幅広い取組ができ、参加した児童生徒のみならず、保護者の興味関心も高めることができた。 		

熊谷市基本情報			
実施教室数	17教室	対象学校数	小学校28校 中学校16校
主な対象学年	小学1～6学年 中学1～3学年	平均開催日数	17日
コーディネーター数	1人	ボランティア数	46人
講師の属性	熊谷市サイエンスボランティア (小・中学校教員、元教員、大学生等)		



〔骨から動物のからだを想像しよう〕〔和田吉野川の水辺環境と生き物調べ〕

土曜日の教育支援・北部地区

深谷市・藤沢小がんばル〜ム

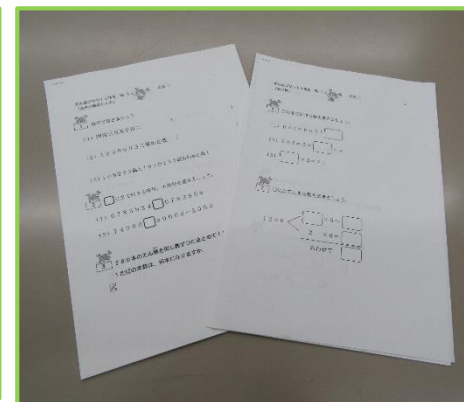
活動場所	図書室	参加者数 (1日平均)	9人
参加対象	全学年		
連携団体	深谷市スポーツ推進委員協議会		
活動内容	<p>主に算数と国語を中心に市販のワークを使用し、一般公募の「ちいきの先生」が自主学習の支援・相談を行っています。</p> <p>【スケジュール】 はじめタイム 9:15～9:30 出欠確認・目標の設定 前半 9:30～10:15 算数 ハーフタイム 20分 ハーフタイム 後半 10:35～11:20 国語 おわりタイム 11:20～11:30 反省と感想</p> <p>学習時間以外にハーフタイム（休憩時間）の自由遊びやスポーツ教室を通して学年間の交流を図っています。 算数では、授業の單元ごとにワークを進め、さらにプリント学習『がんばプリント』にも挑戦しています。『がんばプリント』の台紙は表紙がスタンプラリーになっており、達成感を得られるようになっています。</p>		
活動の成果	<p>近年、子供たちの休日の過ごし方は多様化し、充実したものとなっています。本事業は、子供たちが有意義な土曜日を過ごすための一つの選択肢として大変重要な役割となっています。</p> <p>参加児童へのアンケートでは、「勉強やハーフタイム、お友達や先生と話すことが楽しかった」「来年度も参加したい」との回答が多く見られ、とても好評で満足度の高いものとなっています。</p> <p>今後、「ちいきの先生」の資格や経験、趣味などを活かしながら、学習以外にも楽しめるプログラムをさらに取り入れて、学校・家庭と一層連携し、より充実した「がんばル〜ム」運営へとつなげていきたいと考えます。</p>		

深谷市基本情報

実施教室数	19教室	対象学校数	小学校19校
主な対象学年	小学1～6学年	平均開催日数	21日
コーディネーター数	19人	ボランティア数	90人
講師の属性	地域の方々（退職者や元教員、大学生 等）		



〔スポーツ教室（ドッジビー）〕



〔がんばプリント〕

土曜日の教育支援・北部地区

寄居町・「より・E小学生英語塾」			
活動場所	寄居町中央公民館	参加者数 (1日平均)	60人
参加対象	小学6学年		
連携団体	RCSコーポレーション		
活動内容	<p>対象：町内6小学校の6年生 回数：年間30回（土曜日実施） 費用：受講生無料（町費から支出） 内容：ALTとの英会話、英検対策講座 場所：寄居町中央公民館の会議室を使用 形態：令和4年度より、対面型、オンライン型、オンデマンド型を組み合わせたハイブリッド形式で展開 日課：1授業45分 Aグループ 9:20～10:05 Bグループ 10:20～11:05 Cグループ 11:20～12:05 Dグループ 12:30～13:15 受講生は、A～Dグループから選択できる。 委託：運営は、RCSコーポレーション（各校のALTを派遣）に委託している。令和5年度で6年目の事業である。</p>		
活動の成果	<p>ALTが終始楽しい雰囲気の中で授業を展開しているため、児童は安心して復唱したり、英語で答えたりして、たくさん活動ができています。 オンライン型やオンデマンド型でも楽しく学べる内容となっており、当日欠席した児童や受講できなかった児童にも、学びを保障することができています。 入塾生には1月の第3回英検の受講費を町費で補助する事業を行っている。令和5年度は町内小6児童の約46%にあたる99名が受験した。</p>		

寄居町 基本情報			
実施教室数	4教室	対象学校数	小学校 6校
主な対象学年	小学6学年	平均開催日数	30日
コーディネーター数	1人	ボランティア数	0人
講師の属性	ALT		



〔対面型授業の様子〕



〔英検対策講座の様子〕

土曜日の教育支援・三郷地区

三郷市・理科実験教室

活動場所	瑞沼市民センター おもしろ遊学館	参加者数 (1日平均)	32人
参加対象	小学1～6学年		
連携団体	三郷市立小中学校 埼玉大学附属小学校 埼玉大学附属中学校 越谷総合技術高校 東京工業大学		
活動内容	<p>講師の先生と一緒に、色々な実験を通して、自分だけの作品を作る。作った後は、それを使った体験活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色や光の秘密を探ろう ○すごいぞ空気のカ ○オリジナル凧を作ろう ○枝を登る昆虫マジック ○紫色の野菜の不思議 ○音を見よう ○水を使ったおもちゃ作り ○スライムを作ろう <p>工夫した点は、一人一人が作品を作り、それを使って遊ぶことにより、科学の不思議さや楽しさを味わうことができるようにしたことである。また、作品は、家庭に持ち帰り、家庭でも話題にできるようにし、科学に対する興味関心が深められるようにした。</p>		
活動の成果	<p>作品作りを通して、単なる工作に終わらず、原理原則を学ぶことができた。また異なる小学校、異学年の児童が共に学ぶことにより、児童同士の交流を深めることができた。参加希望者も年々増加の傾向にある。作品を持ち帰ることにより、科学に対する家庭での話題も増えている。以下児童の感想を一部記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○また家でもやってみたくと思った。 ○何がどうなっているのか、とても不思議で楽しかった。 ○自分で実際に作ることにより、仕組みを知ることができた。 ○工作をしながら、理科のことを学ぶことができて、よかった。 ○予想と全然違う結果になり、びっくりした。 ○仲間と協力して作ることができて、とても楽しかった。 ○理科が大大大大大好きになったので、もっと実験したい。 		

三郷市基本情報

実施教室数	1教室	対象学校数	小学校 19校 中学校 8校
主な対象学年	小学1～6学年 中学1～3学年	平均開催日数	75日
コーディネーター数	4人	ボランティア数	70人
講師の属性	元教員、小・中・高校教員、大学教授、三郷市民		



〔オリジナル凧を作ろう〕



〔スライムを作ろう〕